

令和元年度事業報告書

社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会

目次

○ 総括	1
○ 事業の実施状況	
1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり	2
(1) バリアフリーやノーマライゼーションへの理解を深める福祉共育の支援	2
① 出前福祉共育講座の充実	2
② 出前福祉共育講座連絡会の開催	2
③ 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの開催	2
④ 地区福祉まつり支援の充実	3
⑤ 宇都宮市民福祉の祭典支援の充実	3
⑥ やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実	4
(2) 気軽に参加・参画できるボランティア活動の充実	4
① 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進	4
(ア) 赤い羽根共同募金運動	4
(イ) 歳末たすけあい募金運動	4
② 歳末たすけあい事業配分委員会の開催	5
③ ボランティアセンター機能の充実	5
(ア) ボランティアの相談・登録・調整の充実	5
(イ) ボランティア団体への活動支援の推進	5
④ ボランティア養成の充実	6
(ア) ボランティア体験プログラム	6
(イ) ボランティア入門講座（ぼらんていあSaturday）	7
(ウ) 学生ボランティアの養成（サマーボランティアスクール）	7
(エ) 災害福祉救援ボランティア養成講座	8
(オ) 災害福祉救援ボランティアフォローアップ講座	8
(カ) 傾聴ボランティア養成講座	8
(キ) 福祉共育サポーター養成講座	9
⑤ 善意銀行事業の推進	9
(ア) 金銭の預託	9
(イ) 金銭の払出し	9
(ウ) 物品の預託、払出し	9
⑥ 宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進	10
(3) 災害ボランティア活動の実施	10
① 宇都宮市災害ボランティアセンターの開設	10
② 市外の災害ボランティアセンターへの職員派遣	11
③ 宇都宮市総合防災訓練への参加	11
(4) 幅広い世代が地域で活躍できる機会づくり	11
① ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実	11
② 食中毒・食品衛生講習会の開催	12
③ ふれあい・いきいきサロン事業の推進	12
④ ふれあい・いきいきサロン連絡会研修会の開催	12
⑤ 男性高齢者調理講習会事業への支援	13

2. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり	13
(1) 地域福祉・ボランティアなどに関する情報発信の強化	13
① 広報紙「社協だより」の発行	13
② ホームページの充実	13
③ 福祉に関する情報発信機能の充実	13
④ 地区社協広報紙の発行助成	14
(2) 生活・福祉に関する相談支援体制の充実	14
① 日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施	14
② 法人後見事業の実施	14
③ 総合相談センター事業の充実	15
④ 生活困窮者自立相談支援事業の実施	16
⑤ 地域包括支援センター事業の充実	16
(ア) 地域包括支援センター御本丸	16
(イ) 上河内地域包括支援センター	17
⑥ 障がい者生活支援センター事業の実施	17
(3) 地域福祉推進のための施設や人材、情報などの活用による福祉の基盤づくり	17
3. とともに支えあう地域社会づくり	18
(1) 身近な地域の中での住民相互の支えあい・助けあい活動の充実	18
① 福祉協力員制度の推進	18
② ブロック別福祉協力員研修会の開催	19
③ 福祉協力員表彰式・委嘱状交付式の開催	19
④ 安心・安全情報キット配付事業の推進	20
⑤ ファミリーケアサービス事業の充実	20
⑥ 地域の子どもたちへの地域福祉事業の検討	20
⑦ 老人クラブ支援の充実	21
⑧ 敬老会開催の支援	21
⑨ 援護事業の実施	22
⑩ 社会福祉資金貸付事業	22
⑪ 各種事業に対する後援・共催	22
(2) 身近な地域の中での多様な居場所づくり	22
① 地域の福祉施設などを活用した住民の交流の促進	22
(3) 将来を見据えた地域における福祉の基盤づくりの支援	22
① 第4次宇都宮市地域福祉活動計画の推進	22
② 第4次宇都宮市地域福祉活動計画の効果的な推進に向けた「検討委員会」「作業部会」の開催	29
(ア) 検討委員会の開催	29
(イ) 作業部会の開催	29
③ 地域福祉事業運営委員会の開催	23
④ 地区社会福祉協議会支援の充実（コミュニティワークの推進）	23
⑤ 福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）の策定及び推進の支援	23
⑥ 地区社会福祉協議会会長研修会の開催	24

4. 在宅福祉サービス事業の推進	24
(1) 様々なニーズに応じたサービスの提供	24
① 福祉機器（車いすなど）貸出事業の推進	24
② 福祉理美容出張費補助サービス事業の推進	24
③ ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進	24
④ 福祉機器・介護用品展示室の開設	25
⑤ 福祉車両貸出サービス事業の推進	25
5. 組織体制の強化	25
(1) 会務の運営	25
① 理事会の開催	25
② 監事会の開催	26
③ 評議員会の開催	26
④ 評議員選任・解任委員会の開催	26
(2) 苦情解決体制	26
① 第三者委員会の開催	26
(3) 地区社会福祉協議会との連携強化	27
① 地区社会福祉協議会会長会議の開催	27
② ブロック別地区社会福祉協議会会長会議の開催	27
(4) 職員の育成	27
① 職員研修の実施	27
6. 自主財源の確保	28
(1) 社会福祉協議会会員制度の充実	28
(2) ぎんなん基金事業の充実	29
① ぎんなん基金の運用	29
② ぎんなん基金運営委員会の開催	29
③ ぎんなん基金の効果的運用に向けた「検討部会」「作業部会」の開催	29
(ア) 検討部会の開催	29
(イ) 作業部会の開催	29
7. 介護保険事業等の推進	30
(1) 訪問介護事業所の運営	30
① 訪問介護事業	30
② 介護予防訪問介護事業	30
(2) 居宅介護支援事業所の運営	30
① 居宅介護支援事業	30
(3) 通所介護事業所の運営	31
① 通所介護事業	31
② 介護予防通所介護事業所の運営	31
(4) 障がい福祉サービスの運営	31
(5) 指定特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営	31

8. 指定管理施設の管理・経営	32
(1) 総合福祉センターの管理・経営 (2施設)	32
① 宇都宮市総合福祉センター	32
② 河内総合福祉センター	32
(2) 老人福祉センターの管理・経営 (5施設)	33
① ことぶき会館	33
② ふれあい荘	33
③ やすらぎ荘	34
④ すこやか荘	34
⑤ 上河内	35
(3) 地域活動支援センターの管理・経営 (3施設)	35
① 雀の宮作業所	35
② 若草作業所	36
③ 障がい者福祉センター	36
(ア) 講座事業	36
(イ) 地域活動支援センター事業	37
(4) 指定管理施設の管理・経営の充実	37
① 事業経営委員会の開催	37
9. 受託事業の実施	37
(1) 宇都宮市からの受託事業	37
① 障がい者生活支援センター事業の実施	37
② 日中一時支援事業の実施	37
(ア) あっとほーむ・すずめ	37
(イ) あっとほーむ・うだい	37
(ウ) あっとほーむ・かわち	37
(エ) 河内地域活動支援事業所	37
③ 障がい者福祉バス事業の実施	38
④ 各種奉仕員養成講座の実施	38
(ア) 手話奉仕員養成講座	38
(イ) 点訳奉仕員養成講座	38
(ウ) 音訳奉仕員養成講座	38
⑤ 宇都宮市意思疎通支援事業 (要約筆記者派遣事業) の実施	39
⑥ 宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施	39
⑦ 生活困窮者自立相談支援事業の実施	39
⑧ 地域包括支援センター事業の充実	39
(ア) 地域包括支援センター御本丸	39
(イ) 上河内地域包括支援センター	39
⑨ 移動支援事業の実施	39
(2) 栃木県社会福祉協議会からの受託事業	40
① 生活福祉資金等貸付事業の実施	40
② 日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施	40

〔総括〕

今日の社会福祉を取り巻く環境は、少子・高齢社会の急速な進展や人口減少、さらには家族形態の変容や個人の価値観の多様化などから、地域や家庭・職場など、住民の生活領域における支えあいや助けあいの基盤が弱まってきており、住民や地域が抱える生活・福祉課題は、益々、複雑化・多様化しています。

これらの課題を解決するため、住民や地域の多様な組織が参画し、「人と人」、「人と資源」が世代や分野を超えてつながり、一人ひとりが生きがいをもって、住み慣れた地域や家庭でいつまでも暮らし続けられる「地域共生社会」の構築が求められています。

こうした中、本会では、第4次地域福祉活動計画に基づき、「ふれあい・いきいきサロンの推進」や「福祉協力員活動の支援の充実」、「福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）の策定支援」、さらには「ボランティア活動の促進」や「広報力の強化」などを行ってきたほか、指定管理事業や受託事業においても、適正かつ順調に事業を実施してきました。

また、令和元年10月に発生した台風第19号は、宇都宮市内にも甚大な被害をもたらしたことから、「災害ボランティアセンター」を開設し、県内外のボランティアをはじめ、宇都宮市や地区社会福祉協議会、自治会、民生委員児童委員協議会、ボランティア・NPO団体などと連携・協働して、被災住民の生活の復旧・復興支援活動を実施しました。

さらには、新型コロナウイルス感染症の対策に迅速に対応するなど、危機管理体制の強化にも努めてきました。



▲ふれあい・いきいきサロン



▲安心・安全情報キット配付事業



▲「社協会費」「各種募金」の使い道リーフレットの作成



▲災害ボランティアによる支援活動



▲台風第19号被災者支援
買い物バスツアー

〔事業の実施状況〕

1. 福祉のこころをはぐくむづくり

(1) バリアフリーやノーマライゼーションへの理解を深める福祉共育の支援

① 出前福祉共育講座の充実

事業の目的	子どもから大人までお互いに学びあい、教えあい、共に育む福祉共育を推進し、やさしさをはぐくむ心の醸成を図る。
-------	---

取組み内容	実施回数	参加者
障がい当事者団体の協力を得て、講話や体験などを中心とした講座を開催した。	延 90 回 (前年度比 - 25 回) ○手話体験 43 回 ○アイマスク体験 2 回 ○点字体験 28 回 ○盲導犬育成講話 7 回 ○車いす介助体験 6 回 ○ボランティア講話 4 回	延 3,473 人 (前年度比 - 693 人)

事業の様子



▲聴覚障がいの理解(手話体験)



▲視覚障がいの理解(点字体験)

② 出前福祉共育講座連絡会の開催

事業の目的	出前福祉共育講座のプログラムを開発し、より効果的な福祉共育の推進を図る。
-------	--------------------------------------

取組み内容	開催日	参加者
出前福祉共育講座の実施に協力を得ている講師やアシスタントとともに、講座のプログラムについて検討した。	令和 2 年 1 月 20 日 (月)	12 人

③ 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの開催

事業の目的	福祉共育を効果的に推進するため、人権・道徳教育の基盤づくりを行う。
-------	-----------------------------------

取組み内容	開催日	参加者
○講話 ボランティア活動の基本と災害ボランティア ○フィールドワーク 令和元年台風第 19 号で被災した地域の訪問と、防災マップづくり ○グループワーク 自分たちにできることを考える	「中止」 新型コロナウイルス 感染防止のため	

④地区福祉まつり支援の充実

事業の目的	地区社会福祉協議会が地域の関係機関などと協働で開催する「地区福祉まつり」の開催費用の一部を助成し、地域での仲間づくりや各団体の連携強化を図る。
--------------	---

取組み内容
<p>事業を実施した地区社会福祉協議会に対し 50,000 円を上限に助成し、事業の開催を支援した。(助成総額 285,915 円)</p> <p>〔助成地区〕</p> <p>○昭和地区 ○細谷・上戸祭地区 ○宮の原地区 ○横川地区 ○雀宮地区 ○富屋地区</p>

⑤宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

事業の目的	すべての市民が参加し、交流する場を通して、福祉への理解と地域の連帯感を深め、安心して生活できる福祉社会の実現を目指す。
--------------	---

取組み内容	開催日
<p>市民やボランティアが主体となり開催する「第13回宇都宮市民福祉の祭典」の開催を支援し、市民相互の交流や福祉に対する理解を深める交流の場とした。</p> <p>※市内において台風第19号の被害が発生したことに伴い、内容と会場を一部変更(縮小)して開催した。</p> <p>○主催 宇都宮市民福祉の祭典実行委員会 (宇都宮ボランティア協会、宇都宮市社会福祉協議会、宇都宮市など10団体)</p> <p>○内容 ○各種表彰 ○模擬店 ○障がい者の作品展示 ○福祉書道展・絵画展 ○ボランティア相談コーナー ○スタンプラリー ○車いす体験 ○福祉車両展示 ○防災グッズ紹介 ○伝言ダイヤル啓発・体験など</p>	<p>令和元年 11月23日(土・祝)</p> <p>市総合福祉センター 市役所 14階大会議室</p>

参加者	備考
<p>○参加協力団体 31団体 (前年度比 -39団体)</p> <p>○ボランティア 7人 (前年度比 -94人)</p> <p>○一般来場者 約2,500人 (前年度比-7,500人)</p>	<p>※福祉バザーの収益金 63,718 円を「ぎんなん基金」に寄附。</p> <p>※台風第19号による市内被災者義援金として 2,377 円を宇都宮市に寄附。</p>

事業の様子



▲福祉書道展



▲Net119 緊急通報システムの啓発

⑥やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実

事業の目的	誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らすために必要なやさしさをはぐくむ心の醸成を図るため、市民・団体・事業者・行政と協力し、「心のバリアフリー」の啓発活動を通して、やさしさをはぐくむ福祉のまちづくりを推進する。
-------	--

取組み内容	開催日	参加者
<p>パラスポーツ（広く障がい者スポーツの意）を通して障がいについて学び、理解を深めることで、「心のバリアフリー」について啓発する。</p> <p>○主催 宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会</p> <p>○テーマ 『パラスポーツを通して学ぶ、心のバリアフリー』</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもいやり駐車スペース、ヘルプマーク、ヘルプカードなどについて ・講話「パラスポーツと心のバリアフリー」 ・体験「車いすバスケットボールを体験しよう」 	令和2年 3月12日(木)	「中止」 新型コロナウイルス感染防止のため

(2) 気軽に参加・参画できるボランティア活動の充実

①赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進

事業の目的	誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりへの市民の参加を促し、多様な民間の社会福祉活動を財政面から支援する仕組みとして、募金運動を展開する。
-------	--

(ア) 赤い羽根共同募金運動（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

募金種別	実績額	備考	事業の様子
戸別募金	28,834,249 円	133,436 戸	
法人募金	1,627,155 円	173 事業所	
街頭募金	244,024 円	9 団体	
学校募金	1,859,871 円	151 校	
職域募金	560,564 円	144 箇所	
その他の募金	506,412 円	74 件	
合計	33,632,275 円		

▲高校生ボランティアによる街頭募金

(イ) 歳末たすけあい募金運動（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

募金種別	実績額	備考
戸別募金	19,373,018 円	133,436 戸
篤志募金	38,670 円	4 件
合計	19,411,688 円	

○配分事業

募金種別	取組み内容額	備考	事業の様子
施設配分	3,167,903 円	115 施設	 <p>▲地域での餅つき交流</p>
団体配分	558,500 円	12 団体	
地域配分	7,057,767 円	39 地区	
地域福祉活動事業配分	9,477,075 円	39 地区	
合計	20,261,245 円		

②歳末たすけあい事業配分委員会の開催

開催日	議 題
令和元年 8月29日(木)	(報告事項) ・平成30年度歳末たすけあい運動実績について ・平成30年度歳末たすけあい運動地区別実績について (協議事項) ・令和元年度歳末たすけあい運動配分事業実施要項について ・歳末たすけあい運動配分事業令和元年度の検討課題について

③ボランティアセンター機能の充実

(総事業費 4,145,091 円)

事業の目的	市民の社会福祉に関する理解と関心を深めるとともに、近隣の市民が助けあうことを基本としたボランティア活動の推進を図る。
-------	--

(ア) ボランティアの相談・登録・調整の充実

各種相談・問合せ	ボランティア活動調整	ボランティア登録数
12,382 件 (前年度比 -83 件)	653 件 (前年度比 -16 件)	○団体 366 団体 11,875 人 (前年度比 +6 団体 -191 人) ○個人 61 人 (前年度比 +24 人)

(イ) ボランティア団体への活動支援の推進

○宇都宮ボランティア協会の活動支援

取組み内容
宇都宮ボランティア協会に助成金を交付し、活動を支援した。(助成額 250,000 円)

○ボランティア活動用機材の貸出

取組み内容	貸出件数	貸出物品
登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動に必要な機材の貸出を行い、活動を支援した。	168 件 (前年度比 +6 件)	パソコン 液晶プロジェクター スクリーンなど

○ボランティアルームの貸出

取組み内容	利用件数
登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動場所となる部屋の貸出を行い、活動を支援した。	延 217 団体 1,663 人 (前年度比 -7 団体 -43 人)

○ボランティアロッカーの貸出

取組み内容	利用団体数
登録しているボランティア団体を対象にロッカーの貸出を行い、活動を支援した。	利用団体 36 団体 (前年度比 ±0 件)

○対面朗読サービスの実施

取組み内容	実施回数など
視覚障がいのある方などに対して、書籍・新聞など本人が希望する文書を対面で読み上げるサービスを、音訳ボランティアの協力で実施した。	○実施回数 20 回 (前年度比±0 回) (利用者の希望により調整) ○利用者数 延 37 人 (前年度比-7 人) ○協力ボランティア数 延 40 人 (前年度比+4 人)

④ボランティア養成の充実

(ア) ボランティア体験プログラム

事業の目的	ボランティア活動への興味・関心から始まるきっかけづくりとして、ボランティア体験プログラムを実施する。
-------	--

取組み内容	実施回数	参加者	数量
市民などからお預かりしたエコキャップ整理の体験活動を実施するとともに、ボランティア同士の交流を図った。	29 回 (前年度比+3 回)	延べ 209 人 (前年度比-23 回)	19,919kg (前年度比-2,573kg)

(イ) ボランティア入門講座 (ぼらんていあ Saturday)

事業の目的	親子や社会人などが参加しやすい土曜日に開催し、福祉のまちづくりの一助となるボランティア活動の“きっかけづくり”とする。
-------	---

取組み内容	開催日	参加者
<ul style="list-style-type: none"> ○聴覚障がいを学ぼう ○視覚障がいを学ぼう ○発達障がい学ぼう ○精神障がい学ぼう 	(聴覚) 令和元年 7 月 20 日 (土) 令和 2 年 1 月 25 日 (土) (視覚) 令和元年 7 月 27 日 (土) 令和 2 年 2 月 1 日 (土) (発達) 令和元年 8 月 31 日 (土) (精神) " 10 月 5 日 (土)	延 76 人 (前年度比 +7 人)

事業の様子



▲視覚障がい学ぼう(点字体験)



▲聴覚障がい学ぼう(手話体験)

(ウ) 学生ボランティアの養成 (サマーボランティアスクール)

事業の目的	高校生から大学生、専門学校生を対象に、ボランティア活動のきっかけをつくり、身近な地域でのボランティア活動の推進を図る。
-------	---

取組み内容	開催日	参加者
<ul style="list-style-type: none"> ○視覚障がい者による講話 ○手引き、アイマスク体験 ○料理作りによる交流 	令和元年 8 月 8 日 (木) 8 月 9 日 (金)	延 12 人 (前年度比-10 人)

事業の様子



▲手引きの体験



▲視覚障がい者と料理作りによる交流

(エ) 災害福祉救援ボランティア養成講座

事業の目的	過去の災害の記憶をふりかえり、減災意識の向上と減災活動の実践につなげるとともに、災害時のボランティアを養成する。
--------------	--

取組み内容	開催日	参加者
○講話（災害に対する心構え、など） ○身体、聴覚、視覚障がいの理解 ○実技（心肺蘇生法、AED）など	令和元年 6月1日（土） 6月8日（土） 6月15日（土） 6月22日（土） 6月29日（土）	延 34 人 (前年度比 -13 人)

事業の様子



▲AEDの体験



▲災害時における高齢者の生活支援(タオルケットがウン)

(オ) 災害福祉救援ボランティアフォローアップ講座

事業の目的	災害福祉救援ボランティア養成講座の修了生を対象に、フォローアップ研修を実施し、災害ボランティアの知識と技術の向上を図る。
--------------	--

取組み内容	開催日	訓練会場	参加者
宇都宮市総合防災訓練に参加し、「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を実施した。宇都宮ボランティア協会と協働で実施。	令和元年 8月17日(土)	宇都宮大学 峰キャンパス	26人

(カ) 傾聴ボランティア養成講座

事業の目的	高齢者が抱える不安や孤独に耳を傾け、孤独感を解消するための「傾聴活動」に必要な技能や資質を学ぶ。
--------------	--

取組み内容	開催日	参加者
○講義（認知症の理解、傾聴の基本など） ○ロールプレイ（模擬演習） ○施設実習 など	令和元年 9月3日（火） 9月10日（火） 9月17日（火） 9月24日（火）	延 79 人 (前年度比 +11 人)

事業の様子



▲講座の様子



▲福祉施設での体験実習

(キ) 福祉共育サポーター養成講座

事業の目的	出前福祉共育講座をより効果的に展開するため、福祉共育サポーターを養成する。
-------	---------------------------------------

取組み内容	開催日	参加者
○講義（社協が実践する福祉共育、学校で行われている福祉共育の現状と課題） ○福祉共育の授業体験 など	「中止」 新型コロナウイルス 感染防止のため	

⑤善意銀行事業の推進

事業の目的	市民などからの善意の金銭や物品の預託を受け、必要とするところに払出しを行い、市民相互の支えあい・助けあい活動を推進する。
-------	--

(ア) 金銭の預託

項目	金額	前年度比	備考
前年度繰越金	2,893,276 円	+981 円	
預託金受入	112,500 円	-25,800 円	うち高齢者等地域活動支援ポイント事業参加者からの預託金 84,800 円
使用済み切手・書き損じはがき換金	87,336 円	+20,731 円	
プルタブ換金	45,720 円	+7,748 円	
入れ歯リサイクル換金	22,659 円	+22,659 円	
①預託合計	3,161,491 円	+26,319 円	

(イ) 金銭の払出し

項目	金額	前年度比	備考
預託金払出し	245,000 円	+55,000 円	25 件の払出し
事業費支出	92 円	-51,372 円	
②支出合計	245,092 円	3,628 円	

次年度繰越金 2,916,399 円 (①預託合計 3,161,491 円 - ②事業費支出 245,092 円)

(ウ) 物品の預託、払出し

預託	払出し
○収集物品（使用済み切手、プルタブなど） 123 件（前年度比 -18 件）	○収集物品（使用済み切手、プルタブなど）を換金。
○その他物品（車いす、タオル、衣類など） 40 件（前年度比 +1 件）	○その他、児童福祉施設等にレトルト食品等を払出し

⑥宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進

【宇都宮市からの受託事業（平成26年6月25日受託）】

（総事業費 28,715,393円）

事業の目的	高齢者が充実した高齢期を送ることができるよう、また、まちづくりの担い手として活躍できるよう、高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいづくりを促進する。
-------	--

取組み内容	認定団体など
高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいづくりを応援する事業の管理運営機関として、円滑かつ適正に事業を展開した。	○認定団体数 658 団体（前年度比+42 団体） ○対象者数 延 21,212 人（前年度比+2,014 人）

(3) 災害ボランティア活動の実施

①宇都宮市災害ボランティアセンターの開設

事業の目的	災害発生時、宇都宮市からの要請に基づき災害ボランティアセンターを開設し、被災者と災害ボランティアの調整（マッチング）を行い、被災者の生活復旧と復興支援を行う。
-------	---

取組み内容	活動実績
令和元年台風第19号の被災者支援のため、災害ボランティアセンターを開設した。 ○開設期間 令和元年10月16日（水）～令和2年3月31日（火） ○開設場所 まちかど広場、旧一条中学校跡地 ○活動内容 居住している家屋内の片付け、清掃、家屋内の泥出し、被災ごみの運搬など ○その他 被災者の生活復興支援事業として、「買い物バスツアー」を実施	○ボランティア依頼件数 271 件 ○ボランティア受付者数 延 1,129 人 ○ボランティア派遣件数 265 件 ○ボランティア活動完了件数 271 件

事業の様子



▲ボランティアによる支援の様子



▲買い物バスツアー（学生ボランティアも参加）

②市外の災害ボランティアセンターへの職員派遣

事業の目的	栃木県社会福祉協議会と締結している「栃木県・市町社会福祉協議会における災害時支援に関する協定」に基づき、市外の災害ボランティアセンターに職員を派遣し、支援する。
--------------	--

取組み内容	
○派遣先	鴨川市災害ボランティアセンター（運営：鴨川市社会福祉協議会）
○派遣人数	1名
○派遣期間	令和元年10月5日（土）～10月9日（水）
○支援内容	被災者からのボランティア依頼受付・相談対応

③宇都宮市総合防災訓練への参加

事業の目的	災害ボランティアセンターの迅速な設置とボランティアの機能的・効率的な受入を行うため、総合防災訓練に参加し訓練を行う。
--------------	--

取組み内容	開催日	訓練会場	参加者
「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を実施した。 宇都宮ボランティア協会、災害ボランティア養成講座修了生と協働で実施。	令和元年 8月17日（土）	宇都宮大学 峰キャンパス	36人

（４）幅広い世代が地域で活躍できる機会づくり

①ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実

事業の目的	地域で暮らすひとり暮らし高齢者が生きがいをもって生活ができるよう、地域の中での仲間づくりや孤独感の解消、情報の提供を目的に会食会を実施する。
--------------	--

取組み内容	参加者
○助成 39 地区社協に1食あたり400円を助成した。 (助成総額9,179,600円)	39 地区 延べ22,949人 (前年度比+384人)
○対象 おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者	
○実施回数 39 地区社協ごとに年6～12回実施	

事業の様子



▲会食会の様子



▲小学生との交流による会食会

②食中毒・食品衛生講習会の開催

事業の目的	ふれあい会食事業に携わる福祉協力員や民生委員などを対象に、食中毒防止などに関する講習を行い、事業実施に伴う食の安全・安心を図る。	
取組み内容	開催日	参加者
○講習「食中毒予防の基本と正しい手洗いの方法」 講師 宇都宮市保健所 ○情報交換	令和元年 7 月 9 日 (火)	85 人 (前年度比 -18 人)

③ふれあい・いきいきサロン事業の推進

事業の目的	高齢者、障がい者及び子どもなどが身近な場所に気軽に集い、ふれあいを通して仲間づくりや生きがいつくりの輪を広げ、参加者の悩みや不安の解消を図る。
--------------	---

取組み内容	サロン設置数
○ふれあい・いきいきサロン事業助成 1 サロンあたり 24,000 円を上限に助成した。(毎年度助成) (助成総額 7,208,000 円)	39 地区 304 箇所に設置 (R2.3.31 現在)
○ふれあい・いきいきサロン健康事業助成 参加者の健康増進のための器具を購入する際の経費として、 25,000 円を上限に助成した(1 サロン 1 回限り) (助成総額 521,252 円)	
事業の様子	



▲地域で開催されている「ふれあい・いきいきサロン」の様子▲

④ふれあい・いきいきサロン連絡会研修会の開催

事業の目的	ふれあい・いきいきサロン事業の効果的な運営とサロン相互の連携を促進する。
--------------	--------------------------------------

取組み内容	開催日	参加者
○実技 「サロンに持ち帰ることのできる簡単で役に立つ運動」 講師 鈴木和子氏 (健康運動指導士) 日本健康運動士会所属	○中央ブロック 令和元年 12 月 3 日 (火) ○東部ブロック 令和元年 11 月 26 日 (火) ○西部ブロック 令和元年 11 月 28 日 (木) ○南部ブロック 令和元年 11 月 27 日 (水) ○北部ブロック 令和元年 11 月 25 日 (月)	41 人 64 人 78 人 67 人 69 人

⑤男性高齢者調理講習会事業への支援

事業の目的	男性高齢者の栄養面を考えた調理をふくめ、自立した生活と地域での仲間づくりや生きがいを持ち、いきいきとした生活が送れるよう支援する。
-------	---

取組み内容					
事業を実施した地区社会福祉協議会に対し開催費用の 1/2 を助成し、事業の開催を支援した。(助成総額 270,016 円)					
助成地区	実施回数	延参加者	助成地区	実施回数	延参加者
東地区	6 回	48 人	瑞穂野地区	5 回	72 人
西地区	1 回	13 人	篠井地区	1 回	11 人
昭和地区	7 回	130 人	豊郷地区	5 回	95 人
城山地区	2 回	33 人	河内地区	2 回	50 人
宮の原地区	6 回	61 人	合計	35 回	513 人
(前年度比 -190 人)					

2. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり

(1) 地域福祉・ボランティアなどに関する情報発信の強化

①広報紙「社協だより」の発行

事業の目的	広報紙「社協だより」を発行することで福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
-------	--

取組み内容	発行部数
○第 172 号 平成 31 年 4 月 20 日発行 ○第 173 号 令和元年 7 月 1 日発行 ○第 174 号 令和元年 10 月 1 日発行 ○第 175 号 令和 2 年 2 月 1 日発行	各号 21,000 部を発行

②ホームページの充実

事業の目的	「ホームページ」を活用して福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
-------	---

取組み内容	閲覧数
○福祉に関する情報や、社協の事業などを発信 ○災害ボランティア特設ページを新設	月平均 約 4,000 件

③福祉に関する情報発信機能の充実

事業の目的	地域の福祉拠点として指定管理施設を活用し、福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
-------	---

取組み内容	
○老人福祉センター	5 施設
○地域活動支援センター	3 施設
○総合福祉センター	2 施設
<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談センター巡回相談の開設 ・各種地域福祉講座、講習会などの福祉情報の提供 ・車いすなどの福祉機器の貸出 	

④地区社協広報紙の発行助成

事業の目的	地区社協が発行する広報紙 1 回分の発行を助成し、地域の住民に対する福祉情報の広報・啓発を行う。
--------------	--

取組み内容	
広報紙を発行した地区社会福祉協議会に対し、発行にかかる費用の 1/2 を助成し、地域住民に対する福祉情報の広報・啓発を支援した。(助成総額 275,230 円) 〔助成地区〕 ○錦地区 ○宝木地区 ○雀宮地区	

(2) 生活・福祉に関する相談支援体制の充実

①日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施

【栃木県社会福祉協議会からの受託事業（平成 11 年 10 月 1 日受託）】

(総事業費 8,804,400 円)

事業の目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が十分でない方に対し、相談や福祉サービスの利用援助、金銭管理などのサービスを提供する。
--------------	---

取組み内容																						
○担当地区	宇都宮市、上三川町																					
○一般相談	月～金曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分																					
○契約者数	95 人（新規契約者 10 人） (前年度比：契約者数±0 人、新規契約者数－4 人)																					
○相談件数	1,614 件（前年度比－824 件）																					
○相談者内訳	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 35%;">相談件数</th> <th style="width: 35%;">前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症高齢者</td> <td style="text-align: center;">533 件</td> <td style="text-align: center;">－204 件</td> </tr> <tr> <td>知的障がい者</td> <td style="text-align: center;">220 件</td> <td style="text-align: center;">－269 件</td> </tr> <tr> <td>精神障がい者</td> <td style="text-align: center;">774 件</td> <td style="text-align: center;">－291 件</td> </tr> <tr> <td>身体障がい者</td> <td style="text-align: center;">73 件</td> <td style="text-align: center;">－60 件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: center;">14 件</td> <td style="text-align: center;">±0 件</td> </tr> <tr> <td>合計（延）</td> <td style="text-align: center;">1,614 件</td> <td style="text-align: center;">－824 件</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	相談件数	前年度比	認知症高齢者	533 件	－204 件	知的障がい者	220 件	－269 件	精神障がい者	774 件	－291 件	身体障がい者	73 件	－60 件	その他	14 件	±0 件	合計（延）	1,614 件	－824 件
区 分	相談件数	前年度比																				
認知症高齢者	533 件	－204 件																				
知的障がい者	220 件	－269 件																				
精神障がい者	774 件	－291 件																				
身体障がい者	73 件	－60 件																				
その他	14 件	±0 件																				
合計（延）	1,614 件	－824 件																				

②法人後見事業の実施

事業の目的	認知症や知的障がいなどの理由により、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、法人として成年後見人等となり、財産管理、身上保護を行うことで利用者の権利を擁護する。
--------------	--

取組み内容																
○法人後見受任件数	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 35%;">相談件数</th> <th style="width: 35%;">前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後見類型</td> <td style="text-align: center;">6 件</td> <td style="text-align: center;">±0 件</td> </tr> <tr> <td>保佐類型</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">±0 件</td> </tr> <tr> <td>補助類型</td> <td style="text-align: center;">1 件</td> <td style="text-align: center;">±0 件</td> </tr> <tr> <td>合計（延）</td> <td style="text-align: center;">7 件</td> <td style="text-align: center;">±0 件</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	相談件数	前年度比	後見類型	6 件	±0 件	保佐類型	0 件	±0 件	補助類型	1 件	±0 件	合計（延）	7 件	±0 件
区 分	相談件数	前年度比														
後見類型	6 件	±0 件														
保佐類型	0 件	±0 件														
補助類型	1 件	±0 件														
合計（延）	7 件	±0 件														
○相談件数	51 件（前年度比 －5 件）															
○法人後見運営委員会	「中止」（書面で報告）※新型コロナウイルス感染防止のため。															

③総合相談センター事業の充実

(総事業費 3,986,756円)

事業の目的	市民が抱える各種の問題について広く相談に応じ、適切な助言指導を行うとともに、各相談機関との連携を図る。
-------	---

取組み内容

○相談内容と相談件数

種別	相談件数	種別	相談件数
生計問題	67件	財産問題	31件
年金問題	10件	交通事故問題	3件
職業・生業問題	15件	児童福祉・母子保健問題	1件
住宅問題	19件	教育・青少年問題	1件
家族問題	70件	心身障がい者福祉問題	3件
結婚問題	3件	ひとり親福祉問題	0件
離婚問題	6件	高齢者福祉問題	7件
健康・衛生問題	20件	苦情問題	27件
医療問題	5件	その他	52件
精神衛生問題	649件	合計	991件 (前年度比 +230件)
人権・法律問題	2件		

※開設回数 延 358回 (うち特別相談日 47回、巡回相談日 70回)

- 生活福祉相談 月～金曜日
- 巡回相談 毎月各1回
 - 第1木曜日：ことぶき会館
 - 第2木曜日：ふれあい荘
 - 第3木曜日：やすらぎ荘
 - 第4木曜日：すこやか荘
 - 第1火曜日：河内総合福祉センター
 - 第2火曜日：上河内老人福祉センター
- 特別相談 毎月各1回
 - 第3火曜日：法律相談
 - 第3水曜日：心身障がい者相談
 - 第3木曜日：更生相談
 - 第3金曜日：精神保健福祉相談

事業の様子



▲民生委員の協力による生活福祉相談

④生活困窮者自立相談支援事業の実施

【宇都宮市からの受託事業（平成 26 年 6 月 25 日モデル事業受託、平成 27 年 4 月 1 日受託）】
 （総事業費 25,528,785 円）

事業の目的	現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある方に対し、自立に向けた相談支援を行う。
-------	---

取組み内容		
○相談などの内訳		
区 分	件数など	前年度比
新規相談件数（新規受付実人数）	861 件	+98 件
自立に向けたプラン作成件数	427 件	-45 件
支援回数	3,801 件	-580 件
就労支援対象者数	90 人	-44 人
就職及び増収者数	72 人	-41 人
○事業運営委員会 「中止」（書面で報告） ※新型コロナウイルス感染防止のため。		

⑤地域包括支援センター事業の充実

（ア）地域包括支援センター御本丸

【宇都宮市からの受託事業（平成 18 年 4 月 1 日受託）】

（総事業費 38,479,276 円）

事業の目的	介護・福祉・健康の総合窓口として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。
-------	--

取組み内容	
○担当地区	中央地区、築瀬地区、城東地区
○総合相談支援事業	相談者数 延 385 人（前年度比 -90 人）
○地域ケア会議の開催	中央地区全体 3 回 築瀬地区全体 0 回（台風のため中止） 城東地区全体 3 回 単位自治会ごと 14 回 個別会議 3 回
○介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業	介護予防支援プラン作成 延 1,186 件 （うち居宅介護支援事業所委託 665 件） 介護予防ケアマネジメントプラン作成 延 1,425 件 （うち居宅介護支援事業所委託 699 件）
○介護予防教室の開催	中央地区 1 コース 築瀬地区 1 コース 城東地区 1 コース
○家族介護教室の開催	『家で介護することとは』 延 3 回
○ひとり暮らし安心ネットワーク事業	安否確認 延 28 回（対象者：3 人）
○地域介護予防活動支援事業	対象グループなし

(イ) 上河内地域包括支援センター

【宇都宮市からの受託事業（平成 19 年 4 月 1 日受託）】

（総事業費 24,693,598 円）

事業の目的	介護・福祉・健康の総合窓口として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。
-------	--

取組み内容	
○担当地区	上河内地区
○総合相談支援事業	相談者数 延 210 人（前年度比 -13 人）
○地域ケア会議の開催	上河内地区全体 3 回 個別会議 3 回
○介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業	介護予防支援プラン作成 延 496 件 （うち居宅介護支援事業所委託 226 件） 介護予防ケアマネジメントプラン作成 延 337 件 （うち居宅介護支援事業所委託 120 件）
○介護予防教室の開催	上河内地区 32 回（小学校区ごとに 3 会場で実施） （新型コロナウイルス感染防止のため 2 回×2 会場中止）
○家族介護教室の開催	『介護者のためのリフレッシュ体操』 延 1 回
○ひとり暮らし安心ネットワーク事業	安否確認 延 12 回（対象者：1 人）
○地域介護予防活動支援事業	介護予防教室などの修了者に対する自主グループ支援 1 団体 延 1 回




▲ 介護予防教室（はつらつ教室）の様子 ▲

⑥障がい者生活支援センター事業の実施

【宇都宮市からの受託事業（平成 14 年 10 月 1 日受託）】

（総事業費 16,015,869 円）

事業の目的	身体・知的・精神の障がい分野にかかわらず、地域で生活している障がい者や家族の相談に応じ、地域生活に必要な支援を行う。
-------	--

相談支援を利用している利用者数	相談件数	個別支援会議
延 803 人 （前年度比 -329 人）	延 1,975 件 （前年度比 -259 件）	38 回開催 （前年度比 +12 回）

(3) 地域福祉推進のための施設や人材、情報などの活用による福祉の基盤づくり

事業の目的	地域住民が主体となって、地域福祉に関係する施設や人材、情報などを活用しながら、地域で包括的な支援ができるよう福祉の基盤づくりを進める。
-------	---

取組み内容	
地域包括ケアシステムの構築に向けて、行政や地域包括支援センター、地域の関係機関、団体、施設等と連携・協働し、市民に向けた説明会や勉強会の開催支援を行った。	

3. ともに支えあう地域社会づくり

(1) 身近な地域の中での市民相互の支えあい・助けあい活動の充実

① 福祉協力員制度の推進

事業の目的	地域福祉及び在宅福祉の効率的運営と組織的活動を促進し、社会福祉の増進を図るため福祉協力員制度を推進する。
--------------	--

取組み内容

小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、福祉協力員を委嘱するとともに、福祉協力員連絡会の支援及び活動費の助成を行った。（助成総額 4,410,000 円）

また、福祉協力員の目的や役割、活動事例、福祉の相談窓口などを掲載した「福祉協力員手帳」を新たに作成し、全福祉協力員に配付した。

○ 地区別福祉協力員数

地 区	人数	地 区	人数	地 区	人数
中 央	44 人	清 原	98 人	瑞 穂 野	44 人
東	51 人	桜	71 人	雀 宮	110 人
西	45 人	宝 木	82 人	五代若松原	39 人
築 瀬	14 人	富 士 見	67 人	御 幸	36 人
西 原	53 人	明 保	34 人	御幸ヶ原	44 人
昭 和	54 人	城 山	60 人	篠 井	12 人
錦	37 人	姿 川	182 人	富 屋	17 人
城 東	39 人	戸 祭	68 人	国 本	62 人
今 泉	50 人	細谷・上戸祭	76 人	豊 郷	160 人
泉 が 丘	48 人	陽 南	67 人	上 河 内	47 人
峰	57 人	緑 が 丘	69 人	河 内	172 人
平 石	17 人	陽 光	53 人	合計 2,555 人 (前年度比+66 人)	
石 井	178 人	宮 の 原	40 人		
陽 東	47 人	横 川	111 人		



▲新たに作成した福祉協力員手帳

②ブロック別福祉協力員研修会の開催

事業の目的	福祉協力員の資質の向上と、地区社協の地域福祉活動の活性化を図る。	
取組み内容	開催日	参加者
○基調講話 「認知症について考えてみよう～もし、家族やご近所の方が認知症になったら～」 講師 各ブロック内の地域包括支援センター職員	○中央ブロック 令和元年9月26日(木)	87人
	○東部ブロック 令和元年10月3日(水)	195人
	○西部ブロック 令和元年10月10日(木)	192人
	○南部ブロック 令和元年10月4日(金)	179人
	○北部ブロック 令和元年10月2日(月)	162人
○トークタイム		

③福祉協力員表彰式・委嘱状交付式の開催

事業の目的	身近な地域における見守りや声かけ活動などの地域福祉活動を長年に渡り実践してきた福祉協力員に対し、その功績を称えるとともに、委嘱状を交付することで意識の高揚並びに資質向上を図る。
--------------	--

取組み内容	開催日
○福祉協力員表彰式 20年表彰 受賞者19地区 77人 10年表彰 受賞者30地区 128人	令和元年 5月29日(水)
○福祉協力員委嘱状交付式 39地区 2,539人に交付	
○記念講演 演題『諦めない心』 講師 増渕倫巳氏 (ロンドンパラリンピック男子車椅子バスケットボール日本代表)	
○わくわくショップU出張販売 (出展施設) ユーフーム御幸ヶ原 TOMOS company B型事業所 とちぎライトセンター イチゴノキ	

④安心・安全情報キット配付事業の推進

事業の目的	本人情報が即座に確認できる「キット」を配付することで、救急時における速やかな対応と見守り活動を促進し、安全・安心な日常生活が送れる地域社会を構築する。
--------------	---

取組み内容	累計配付数
在宅の高齢者及び障がい者などに対し、「安心・安全情報キット」を配付した。 令和元年度配付本数 13地区 883本	39地区 延21,096本

事業の様子

 <p>▲手渡しでキットを配付</p>	 <p>▲安心・安全情報キット</p>
--	---

⑤ファミリーケアサービス事業の充実

(総事業費 3,111,919円)

事業の目的	日常生活を営むうえで支援が必要な高齢者や障がい者などの世帯（利用会員）に対し、協力会員が有償で家事援助などのサービスを提供する。
--------------	--

サービス内容	会員数	利用実績
掃除、食事の準備、洗濯、買い物、外出時の付き添いなど	○利用会員 51人 (前年度比 -4人) ○協力会員 24人 (前年度比 +5人)	○利用件数 延1,942件 (前年度比 -110件) ○利用時間 延2,536時間 (前年度比 -175時間)

⑥地域の子どもたちへの地域福祉事業の検討

事業の目的	地域の中で子どもたちが安心・安全にいきいきと育つことができるよう、地域の子どもたちへの地域福祉事業について検討する。
--------------	--

取組み内容
子ども関係機関等に対し、子どもを対象とする事業の情報収集を行った。

⑦老人クラブ支援の充実

事業の目的	市内の老人クラブの育成指導と連絡調整を図り、併せてクラブ活動の充実強化を推進し、高齢者福祉及び地域福祉の向上発展に寄与する。
--------------	--

取組み内容	クラブ数・会員数
高齢者の介護予防や相互支援に取り組んでいる単位老人クラブや地区連絡協議会を支援し、市老人クラブ連合会組織の充実強化と事業支援を行った。	○クラブ数 301クラブ ○会員数 16,824人

主な事業	
○老人クラブ社会奉仕の日(年3回)	延 8,803 人
○宇都宮市老人クラブのつどい	約 200 人
・開催日	令和元年9月25日(水)
・会場	宇都宮市文化会館・小ホール
・内容	①式典(優良老人クラブ・老人クラブ育成功労者などの表彰など) ②演奏会 エレクトーン演奏 奏者 倉沢大樹 氏
○軽スポーツ大会(グラウンドゴルフ、ペタンク、輪投げ)	731 人
○ボウリング交流会	52 人
○研修会(女性研修会、新任会長研修会、リーダー研修会)	368 人
○サークル活動発表会	20 団体 253 人
○絵手紙講習会	36 人
○機関紙の発行(年3回)	

事業の様子



▲絵手紙講習会



▲ボウリング交流会

⑧敬老会開催の支援

事業の目的	高齢者を敬い、励まし、高齢者福祉に対する市民の理解や関わりを深めながら、市民全体で協力して活力ある長寿社会を築くため、敬老会の開催を支援する。
--------------	---

取組み内容
地区社会福祉協議会、宇都宮市、市社会福祉協議会の共催により開催した敬老会の開催費用の一部を助成した。
39 地区社協へ助成(助成総額 5,067,075 円)

⑨ 援護事業の実施

事業の目的	所持金の紛失などにより、目的地まで行くことのできない行旅人に対し、旅費の貸付を行う。	
	貸付限度額	貸付人数など
	1人500円(1人1回限り)	○貸付人数 76人(前年度比-18人) ○貸付額合計 38,000円

⑩ 社会福祉資金貸付事業

事業の目的	市社協が独自に行う貸付事業の債権管理を行う。	
	取組み内容	
	○完了件数 0件(前年度比-2件) ○累積貸付件数 2件(前年度比±0件) ※現在は貸付を行わず、債権管理のみ。	

⑪ 各種事業に対する後援・共催

事業の目的	各団体などが開催する事業に対し、後援・共催を行う。	
	取組み内容	
	○共催 0件(前年度比±0件) ○後援 31件(ボランティア団体など)(前年度比+1件)	

(2) 身近な地域の中での多様な居場所づくり

① 地域の福祉施設などを活用した市民の交流の促進

事業の目的	地域の福祉施設などを活用し、地域住民が相互に交流を深める取組みを支援する。
	取組み内容
	地域の福祉施設を利用し、施設の文化祭や祭りなどを実施し、地域住民が交流できる場の提供を行った。

(3) 将来を見据えた地域における福祉の基盤づくりの支援

① 第4次宇都宮市地域福祉活動計画の推進

事業の目的	地域に根差した福祉活動を推進するため、ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣型”の地域共生社会の構築を目指し、第4次宇都宮市地域福祉活動計画を推進する。
	取組み内容
	第4次宇都宮市地域福祉活動計画を推進するため、進行管理を行うとともに、「地域福祉事業運営委員会」、「検討委員会」、「作業部会」を開催した。 ○第4次宇都宮市地域福祉活動計画推進期間：平成30年度～令和4年度

②第4次宇都宮市地域福祉活動計画の効果的な推進に向けた「検討委員会」「作業部会」の開催

(ア) 検討委員会の開催

開催日	取組み内容
令和元年 9月30日(月)	○第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について
令和2年 2月7日(金)	○第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について

(イ) 作業部会の開催

開催日	取組み内容
令和元年 9月12日(木)	○第4次宇都宮市地域福祉活動計画について ○第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について
令和2年 1月27日(月)	○第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について

③地域福祉事業運営委員会の開催

開催日	議題
令和元年 10月17日(木)	○協議事項 ・委員長、副委員長の選出について ・第4次宇都宮市地域福祉活動計画 令和元年度の取組みについて ・宇都宮市総合福祉センター事業の見直しについて
令和2年 2月25日(火)	○報告事項 ・第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況及び地域福祉・ボランティア事業報告について(令和元年度) ○協議事項 ・令和2年度地域福祉・ボランティア事業計画について

④地区社会福祉協議会支援の充実(コミュニティワークの推進)

事業の目的	地域の生活・福祉課題の把握や課題の解決方法、社会資源の点検や新たな社会資源の開発などを関係機関・団体などと連携・協働で行える体制づくりに努め、市民が主体的に地域福祉事業(活動)に参画できるよう支援する。
-------	---

取組み内容	配置数
地区担当職員(コミュニティワーカー)をブロックごとに配置し、地区社会福祉協議会の活動支援を行った。	地区担当職員 6人配置

⑤福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)の策定及び推進の支援

事業の目的	地域の生活・福祉課題を解決し、市民の地域福祉活動への積極的な参画を図る。
-------	--------------------------------------

取組み内容
○未策定地区への支援 ・地域の関係機関・団体と連携しながら、福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)の策定に向けて、地区担当職員(コミュニティワーカー)による支援を行った。
○策定済み地区への支援(瑞穂野地区、平石地区、河内地区) ・計画の推進、進行管理などの策定後の活動を支援した。

⑥地区社会福祉協議会会長研修会の開催

事業の目的	先駆的な活動の視察を通じ、地区社協が実施する地域福祉活動のさらなる活性化と地区社協間の交流を図る。	
取組み内容	開催日	参加者
○視察 茨城県常陸太田市社会福祉協議会 「小地域における地域福祉活動計画の策定について」	令和元年 11月19日(火) ～20日(水)	「中止」 台風第19号被害に伴う 災害ボランティアセンター 開設のため

4. 在宅福祉サービス事業の推進

(1) 様々なニーズに応じたサービスの提供

①福祉機器(車いすなど)貸出事業の推進

事業の目的	市社協が所有する車いすなどの福祉機器の貸出を行い、在宅福祉の推進を図る。	
取組み内容	貸出窓口	貸出件数
一時的に車いすや歩行器 などが必要になった市民 に、貸し出しを行った。 ○貸出期間 原則として3か月 ○利用料 無料	○市内9か所 ・ボランティアセンター ・河内総合福祉センター ・ことぶき会館 ・ふれあい荘 ・やすらぎ荘 ・すこやか荘 ・上河内老人福祉センター ・雀の宮作業所 ・若草作業所	延438件 (前年度比 -29件)

②福祉理美容出張費補助サービス事業の推進

(総事業費 355,500円)

事業の目的	理美容店に出向いて利用することが困難な65才以上の在宅の高齢者で理容を希望する者に、訪問理容出張サービスの出張費補助券を提供することで、在宅福祉の充実と向上を図る。	
申請者	利用件数(補助券)	チケット発行枚数
110人	238枚 (前年度比 -25枚)	534枚

③ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進

(総事業費 3,589,530円)

事業の目的	ひとり暮らしの高齢者の家庭に乳酸菌飲料の配達を通じて訪問し、安否確認と孤独感の解消に努め、在宅福祉の向上を図る。		
利用者	配達本数	状況確認	緊急対応
延4,364人 (月平均364人)	延51,279本 (前年度比-2,163本)	42件 ※配達時に不在のため、 詳細確認	2件

④福祉機器・介護用品展示室の開設

事業の目的	介護を容易にするための福祉機器や介護用品などの情報を提供し、在宅福祉の向上を図る。
-------	---

利用者数
延 110 人（前年度比 ±0 人）

⑤福祉車両貸出サービス事業の推進

※令和元年9月末日をもって事業廃止

事業の目的	身体機能の低下や障がいなどで公共交通機関の利用が困難な市民に福祉車両を貸出し、自立生活と社会参加の拡大を図る。
-------	---

貸出件数
○延 57 件（前年度比 -35 件） ○稼働日 71 日

5. 組織体制の強化

(1) 会務の運営

①理事会の開催

開催日	議 題
令和元年 6月5日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市社会福祉協議会会長職務の執行状況について ○議事 <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について ・宇都宮市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ・平成30年度宇都宮市社会福祉協議会第3次収支補正予算について ・平成30年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について ・平成30年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について ・宇都宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和元年 6月21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○議事 <ul style="list-style-type: none"> ・正副会長の選任について ・常務理事の選任について
令和元年 10月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市社会福祉協議会会長職務の執行状況について ○議事 <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ・宇都宮市社会福祉協議会総合相談センター設置規程の一部改正について ・宇都宮市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・令和元年度宇都宮市社会福祉協議会第1次収支補正予算について ・宇都宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和2年 3月9日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ○議事 <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ・令和元年度宇都宮市社会福祉協議会第2次収支補正予算について ・令和2年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について ・令和2年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について ・宇都宮市社会福祉協議会評議員会の招集について

②監事会の開催

開催日	議 題
令和元年 5月20日(月)	○監査 ・平成30年度事業執行及び会計処理について

③評議員会の開催

開催日	議 題
令和元年 6月21日(金)	○報告事項 ・宇都宮市社会福祉協議会会長職務の執行状況について ○議事 ・宇都宮市社会福祉協議会役員の選任について ・平成30年度宇都宮市社会福祉協議会第3次収支補正予算について ・平成30年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について ・平成30年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について
令和元年 11月12日(火)	○議事 ・令和元年度宇都宮市社会福祉協議会第1次収支補正予算について
令和2年 3月27日(金)	※新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、書面議決を行った。 ○議事 ・令和元年度宇都宮市社会福祉協議会第2次収支補正予算について ・令和2年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について ・令和2年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について

④評議員選任・解任委員会の開催

開催日	議 題
令和元年 6月7日(金)	○議事 ・宇都宮市社会福祉協議会評議員の選任について
令和元年 10月30日(水)	○議事 ・宇都宮市社会福祉協議会評議員の選任について
令和2年 3月9日(月)	○議事 ・宇都宮市社会福祉協議会評議員の選任について

(2) 苦情解決体制

①第三者委員会の開催

事業の目的	市社協が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決するとともに、福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者個人の権利の擁護と、サービス提供者としての信頼及び適正性の確保を図る。
-------	--

開催日	議 題
令和元年 9月27日(金)	○議事 ・宇都宮市社会福祉協議会における苦情解決制度の概要について ・宇都宮市社会福祉協議会事業概要について ・平成30年度苦情などの状況について 〔苦情件数〕 13件(前年度比 -2件) ・職員の対応・接遇に関すること 4件 ・福祉サービスに関すること 0件 ・施設の管理・利用に関すること 4件 ・その他 5件

(3) 地区社会福祉協議会との連携強化

①地区社会福祉協議会会長会議の開催

開催日	議 題
平成 31 年 4 月 12 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 (2019) 年度宇都宮市社会福祉協議会「会員会費募集」について ・「社協会費・各種募金」の使い道について ・「栃木県知事表彰」「栃木県共同募金会会長表彰」被表彰候補者の推薦について ・ぎんなん基金の現状と課題について
令和元年 6 月 12 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度日赤社資募集運動の実施について ・令和元年度敬老会助成金の交付申請について
令和元年 9 月 10 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度赤い羽根共同募金運動について ・令和元年度地域歳末たすけあい募金運動について

②ブロック別地区社会福祉協議会会長会議の開催

開催日	議 題
○中央ブロック 令和 2 年 2 月 21 日 (金) ○東部ブロック 令和 2 年 2 月 20 日 (木) ○西部ブロック 令和 2 年 2 月 27 日 (木) ○南部ブロック 令和 2 年 2 月 19 日 (水) ○北部ブロック 令和 2 年 2 月 18 日 (火)	○議事 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年台風 19 号における宇都宮市災害ボランティアセンターの活動について ・令和元年度ブロック別福祉協力員研修会について ・令和元年度ブロック別ふれあい・いきいきサロン連絡会研修会について ・各地区の活動状況について

(4) 職員の育成

①職員研修の実施

事業の目的	職員育成方針に基づき、職員のスキルアップと職業人としての人間力及び組織力の向上を図る。
-------	---

開催日	内 容	講 師
令和元年 6 月 19 日 (水) 8 月 27 日 (火) 9 月 4 日 (水)	『接遇研修』 <ul style="list-style-type: none"> ・マナーを身につけておくことの重要性 ・求められる価値とサービスの多様化 ・職員に求められる行動と意識 など 	(有) エファ 代表取締役 菊地理恵氏

6. 自主財源の確保

(1) 社会福祉協議会会員制度の充実

事業の目的	市社協の理念や活動に賛同し、地域福祉の推進を財政的に支援していただける市民や企業・団体などの会員の充実を図る。
--------------	---

取組み内容

地区社会福祉協議会や自治会の協力を得て、市社協事業の普及啓発と、地域福祉事業を推進するための会員会費（自主財源）の確保に努めた。

地区		会員数	会費（円）	地区		会員数	会費（円）
中央ブロック	中央	1,483	435,400	南部ブロック	陽南	2,732	819,600
	東	1,505	458,510		緑が丘	2,449	751,550
	西	1,983	541,200		陽光	1,134	340,415
	築瀬	1,590	477,140		宮の原	1,586	475,900
	西原	1,360	409,600		横川	5,060	1,617,954
	昭和	1,346	404,050		瑞穂野	1,828	548,600
	錦	1,365	416,000		雀宮	9,247	2,032,000
東部ブロック	城東	1,603	481,185	北部ブロック	五代若松原	1,368	410,500
	今泉	1,318	395,400		御幸	1,370	411,150
	泉が丘	2,076	622,900		御幸ヶ原	2,086	626,500
	峰	1,902	570,882		篠井	749	224,900
	平石	778	233,400		富屋	841	252,450
	石井	3,080	924,000		国本	3,532	1,059,800
	陽東	1,706	512,570		豊郷	9,219	2,765,976
西部ブロック	清原	6,462	2,234,300	上河内	2,165	649,700	
	桜	1,586	483,400	河内	7,467	2,240,201	
	宝木	3,587	1,076,200	地区以外の 賛助・特別・ 団体会費	331	2,753,000	
	富士見	3,443	1,029,640				
	明保	1,326	397,900	合計	108,573	34,857,233	
	城山	3,144	943,300				
	姿川	6,385	1,915,500				
	戸祭	3,000	900,060				
細谷・上戸祭	3,381	1,014,500					

○参考 過去5年間の会費の状況

(単位：円)

区分	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	合計	会員数	108,573	108,973	108,677	106,817
	会費	34,857,233	35,248,539	35,459,772	35,373,645	35,819,694
	会費前年度比	-391,306	-211,233	+86,127	-446,049	-307,380

(2) ぎんなん基金事業の充実

① ぎんなん基金の運用

事業の目的	社会福祉を振興するための財源として、ぎんなん基金の安全な管理と効果的な運用を図る。
-------	---

取組み内容		
○寄附の状況		
種別	寄附金額	件数
個人	4,199,151円	13件
企業	696,755円	6件
団体	1,768,544円	68件
募金箱	296,665円	85件
合計	7,214,915円	1,032件
前年度比	+4,036,575円	+15件
○募金箱の設置 市内のスーパー、銀行など94箇所に設置（前年度比 +9箇所）		

② ぎんなん基金運営委員会の開催

開催日	議題
令和2年 2月13日（木）	（報告事項） ○令和元年度ぎんなん基金の状況について ○令和元年度ぎんなん基金の取組み内容及び取組み課題について （協議事項） ○令和2年度ぎんなん基金の取組みについて ○ぎんなん基金の「新たな助成対象事業」検討の方向性について

③ ぎんなん基金の効果的運用に向けた「検討部会」「作業部会」の開催

（ア）検討部会の開催

開催日	取組み内容
令和元年 12月3日（火）	○ぎんなん基金の充当状況と課題の検討 ○基金運用のシミュレーション ○ぎんなん基金の「新たな充当対象事業」検討の方向性（案）の検討

（イ）作業部会の開催

開催日	議題
令和元年 10月11日（金） 12月9日（月） 令和2年 3月5日（木）	○ぎんなん基金の充当状況と課題の検討 ○基金運用のシミュレーション ○ぎんなん基金の「新たな充当対象事業」検討の方向性（素案）の作成

7. 介護保険事業等の推進
 (1) 訪問介護事業所の運営

(総事業費 30,552,293 円)

①訪問介護事業

事業の目的	要介護者の心身の特性を踏まえて、入浴、排せつ、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

介護度別利用者内訳 (延人数、延利用回数)

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
152 人	126 人	75 人	19 人	45 人	417 人
1,162 回	2,108 回	527 回	90 回	618 回	4,505 回

(前年度比 -36 人 +83 回)

②介護予防訪問介護事業

事業の目的	要支援者の心身の特性を踏まえて、入浴、排せつ、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

介護度別利用者内訳 (延人数、延利用回数)

要支援 1	要支援 2	事業対象者 (※)	合計
152 人	305 人	71 人	528 人
695 回	2,184 回	369 回	3,248 回

(前年度比 -29 人 -188 回)

※地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。

(2) 居宅介護支援事業所の運営

(総事業費 11,696,659 円)

①居宅介護支援事業

事業の目的	要介護者の心身の特性を踏まえて、居宅介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、その計画に基づく介護サービスが適正かつ円滑に提供させるようその進行を管理する。
-------	---

介護度別居宅サービス計画作成内訳 (延件数)

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3
122 件	204 件	207 件	277 件	93 件
要介護 4	要介護 5	事業対象者 (※)	合計	
46 件	69 件	11 件	1,029 件	

(前年度比 +120 件)

※地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。

(3) 通所介護事業所の運営

(総事業費 19,115,793円)

①通所介護事業（河内事業所で実施）

事業の目的	要介護者などの心身の特性を踏まえて、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
-------	---

介護度別利用者内訳（延人数、延利用回数）					
要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
63人	57人	26人	2人	0人	148人
728回	413回	253回	12回	0回	1,406回
(前年度比 -17人 -138回)					

②介護予防通所介護事業の運営（河内事業所で実施）

事業の目的	要支援者などの心身の特性を踏まえて、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
-------	---

介護度別利用者内訳（延人数、延利用回数）			
要支援1	要支援2	事業対象者（※）	合計
1人	33人	4人	41人
16回	232回	15回	263回
(前年度比 -2人 -43回)			

※地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。

(4) 障がい福祉サービス事業の運営

事業の目的	利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事の介護、調理、洗濯及び掃除などの家事、生活などに関する相談及び助言並びに外出時における移動の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

居宅介護（ホームヘルプサービス） （延人数、延利用回数）	生活介護（デイサービス） （延人数、延利用回数）
○利用者数 196人 ○利用回数 1,752回 (前年度比 +1人、-106回)	○利用者数 24人 ○利用回数 284回 (前年度比 ±0人、-116回)

(5) 指定特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営

事業の目的	障がい児・者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、サービスなどの利用計画・障害児利用支援計画の作成やモニタリング、相談支援を実施する。
-------	---

計画作成	モニタリング
○指定特定相談支援 89件 ○指定障害児相談支援 23件 合計 112件 (前年度比 +5件)	○指定特定相談支援 173件 ○指定障害児相談支援 11件 合計 184件 (前年度比 +42件)

8. 指定管理施設の管理・経営

(1) 総合福祉センターの管理・経営 (2施設)

(指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日)

事業の目的	児童、障がい者及び高齢者などの福祉の増進並びに市民の活動による地域福祉の推進を図るための施設として、福祉に関する社会奉仕活動の推進や社会福祉団体の育成、団体の活動の場を提供する。
-------	---

①宇都宮市総合福祉センター

(総事業費 75,819,000円)

利用状況	
○開館日数	320日 (前年度比 +1日)
○会議室など	延 55,704人 (前年度比 -9,259人) 延 3,776団体 (前年度比 -313団体)
○健康器具	延 3,861人 (前年度比 -554人)

②河内総合福祉センター

(総事業費 55,163,000円)

利用状況	
○開館日数	291日 (前年度比 -4日)
○会議室など (団体室・ボランティア室・朗読室含む)	延 10,202人 (前年度比 -125人) 延 513団体 (前年度比 +14団体)
○大広間など	23,008人 (前年度比 +1,319人)
浴室	60歳以上 14,439人 60歳未満 134人 障がい者 1,765人 子ども 9人
○健康器具	延 12,191人 (前年度比 +1,105人)
○送迎バス	延 1,230人 (前年度比 +51人)

(2) 老人福祉センターの管理・経営 (5施設)

(指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日)

(総事業費 214,010,157円)

事業の目的	高齢者が健康で明るい生活を営むために必要な各種相談や健康の維持増進、教養の向上及びレクリエーションなどの便宜を総合的に図る。
--------------	--

①ことぶき会館

利用状況		送迎バス利用者
○開館日数	290日 (前年度比-3日)	延 6,609人
○利用者数	延 76,982人 (前年度比-8,310人) (1日平均265人)	
健康相談など		教養講座
○血圧測定	延 6,724人	○講座数 12講座
○健康相談	延 1,275人	○開講回数 延 256回
○応急処置	延 11人	○参加者数 延 8,683人
○健康器具利用	延 31,147人	
年間行事など		
○ことぶき文化祭	台風第19号のため「中止」	
○ことぶき健康みんなの大学	健康講話、健康チェック、肩こり・腰痛体操教室の開催 31回	

②ふれあい荘

利用状況		送迎バス利用者
○開館日数	292日 (前年度比±0日)	延 2,602人
○利用者数	延 45,709人 (前年度比-835人) (1日平均156人)	
健康相談など		教養講座
○血圧測定	延 3,843人	○講座数 12講座
○健康相談	延 187人	○開講回数 延 219回
○応急処置	延 16人	○参加者数 延 3,378人
○健康器具利用	延 14,714人	
年間行事など		
○ふれあい文化祭	令和元年10月17日(木)～18日(金)	
○花見演芸大会	1回	
○納涼演芸大会	1回	
○健康講話	1回	
○囲碁将棋自主講座交流大会	1回	
○ボランティア団体などの受入 (映画鑑賞会)		

③やすらぎ荘

利用状況		送迎バス利用者	
○開館日数	291日（前年度比-2日）	延 2,937人	
○利用者数	延 41,290人（前年度比-3,076人） （1日平均 141人）		
健康相談など		教養講座	
○血圧測定	延 2,585人	○講座数	15講座
○健康相談	延 458人	○開講回数	延 320回
○応急処置	延 8人	○参加者数	延 6,655人
○健康器具利用	延 23,958人		
年間行事など			
○やすらぎ祭 令和2年10月27日（日）～28日（月）			
○健康講話 1回			
○敬老の日 地域中学校演奏会及び交流会			
○地域小学校との交流会			
○ボランティア団体などの受入（映画鑑賞会）			

④すこやか荘

利用状況		送迎バス利用者	
○開館日数	292日（前年度比±0日）	延 4,711人	
○利用者数	延 59,343人（前年度比-3,362人） （1日平均 203人）		
健康相談など		教養講座	
○血圧測定	延 1,243人	○講座数	12講座
○健康相談	延 1,138人	○開講回数	延 248回
○応急処置	延 49人	○参加者数	延 8,331人
○健康器具利用	延 31,463人		
年間行事など			
○すこやか荘文化祭 令和元年11月13日（金）～14日（土）			
○健康講話 1回			
○地域幼稚園との世代間交流事業 1回			
○ボランティア団体などの受入（軽音楽演奏会）			

⑤上河内老人福祉センター

利用状況		教養講座	
○開館日数	247日（前年度比+1日）	○講座数	12講座
○利用者数	延 7,217人（前年度比-686人） （1日平均 29人）	○開講回数	延 106回
		○参加者数	延 1,353人
健康相談など		年間行事など	
○血圧測定	延 596人	○上河内老人福祉センターまつり 令和元年10月26日（土）	
○健康相談	延 593人		
○応急処置	延 0人		
○健康器具利用	延 684人		
年間行事など			
○健康講話	1回		
○地域の小学校との世代間交流事業	1回		

(3) 地域活動支援センターの管理・経営（3施設）

（指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日）

事業の目的	障がいがあるため雇用されることが困難な方に、通所による生産活動の機会を提供するほか、日常生活訓練や社会適応訓練、職業指導訓練などを行い、障がい者の社会参加と自立の推進を図る。
-------	---

①雀の宮作業所

（総事業費 雀の宮作業所・若草作業所 47,202,391円）

開所日数	利用登録者数	利用者数
240日 （前年度比 -4日）	17人 （前年度比 ±0人）	延 3,055人 （前年度比 -37人）
生産活動の機会の提供		
電機部品の組立、菓子箱の組立、文書の封筒詰め、シール貼り、各種製品箱詰め、袋詰め、ダンボール製品組立、ダイレクトメール封入作業 など		
社会参加・自立促進		
○野外レクリエーション、社会適応訓練、社会見学、クリスマス会、合同新年の集いの開催		
○うつのみやふれあい文化祭・うつのみやふれあいスポーツ大会などへの参加		
事業の様子		
		
▲作業の様子		▲うつのみやふれあいスポーツ大会

②若草作業所



開所日数	利用登録者数	利用者数
240日 (前年度比 -4日)	12人 (前年度比 -1人)	延 2,505人 (前年度比 -94人)
生産活動の機会の提供		
電機部品の組立、菓子箱の組立、文書の封筒詰め、シール貼り、各種製品箱詰め、袋詰め、ダンボール製品組立、取扱説明書封入作業 など		
社会参加・自立促進		
○野外レクリエーション、社会適応訓練、社会見学、クリスマス会、合同新年の集いの開催 ○うつのみやふれあい文化祭・うつのみやふれあいスポーツ大会などへの参加		
事業の様子		
		
▲作業の様子		▲社会適応訓練(ボウリング)

③障がい者福祉センター

(総事業費 38,284,580円)

事業の目的	利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者を通わせ、機能訓練や社会適応訓練の機会を提供し、地域生活支援の促進を図る。
--------------	--

(ア) 講座事業

利用状況	講座
○利用登録者数 延 106人 (前年度比±0人)	○講座数 15講座 ○開講回数 延 346回 ○参加者数 延 2,682人
年間行事など	
○地域活動支援センターとの交流会 2回 ○うつのみやふれあい文化祭、宇都宮市民福祉の祭典への参加 ○作品展の開催 (うつのみやふれあい文化祭、市民プラザ、松ヶ峰ギャラリー、宇都宮市民福祉の祭典、市役所市民ホール) ○短期講座 (パソコン入門講座) 4回 ○わくわくアートコンクール in うつのみや 審査委員特別賞 2人受賞 わく・わく賞 2人受賞	
事業の様子	
	
▲センター交流会	▲クリスマス会

(イ) 地域活動支援センター事業

利用状況		医療生活相談	
○利用登録者数	13人 (前年度比 ±0人)	○相談状況	
		・開催回数	3回 (前年度比 -1回)
		・利用者数	3人 (前年度比 -1人)
年間行事など			
○野外療育訓練の開催	1回		
○講座事業との交流会の開催	2回		
○宇都宮市民福祉の祭典への参加			
○音楽療法、レクリエーションなどの実施			
○外食訓練、料理実習の実施			

(4) 指定管理施設の管理・経営の充実

①事業経営委員会の開催

開催日	議題
令和2年 2月13日(木)	(報告事項) ・令和元年度指定管理施設及び介護保険事業などの経営状況について (協議事項) ・令和2年度指定管理施設及び介護保険事業などの取組みについて

9. 受託事業の実施

(1) 宇都宮市からの受託事業

①障がい者生活支援センター事業の実施(平成14年10月1日受託)

(総事業費 16,015,869円)

※前掲: 17P参照

②日中一時支援事業の実施

(ア) あっとほーむ・すずめ(放課後支援型)(平成16年4月1日受託)

(イ) あっとほーむ・うだい(放課後支援型)(平成19年7月12日受託)

(ウ) あっとほーむ・かわち(放課後支援型)(平成22年4月1日受託)

(エ) 河内地域活動支援事業所(日中支援型)(平成19年5月24日受託)

(総事業費 16,077,749円)

事業の目的	障がい者などの日中における活動の場を提供し、見守りを実施する。
-------	---------------------------------

施設別取組み内容				
施設名	区分	開所日数	定員	利用者延人数
あっとほーむ・すずめ	放課後支援型	240日	10人	646人
あっとほーむ・うだい	放課後支援型	235日	10人	1,308人
あっとほーむ・かわち	放課後支援型	240日	10人	688人
河内地域活動支援事業所	日中支援型	240日	5人	614人
合 計				3,256人
(前年度比 -230人)				

③障がい者福祉バス事業の実施（昭和 54 年 5 月 1 日受託）

（総事業費 9,741,841 円）

事業の目的	障がい者の社会参加活動を推進する。		
稼働日数	利用団体数	利用人数	
163 日 （前年度比 -37 日）	延 163 団体 （前年度比 -37 団体）	延 3,396 人 （前年度比 -804 人）	

④各種奉仕員養成講座の実施

（総事業費 1,228,953 円）

（ア）手話奉仕員養成講座

事業の目的	聴覚に障がいのある方に対し、手話によるコミュニケーション支援を行う手話奉仕員を養成する。		
実施コース	内 容	開催日	受講人数
入門過程 基礎課程	手話の基礎知識と実技 手話の応用知識と実技	令和元年 5 月 ～令和 2 年 2 月 毎週水曜日 （全 40 回）	延 361 人 （前年度比+46 人）

（イ）点訳奉仕員養成講座

事業の目的	視覚に障がいのある方に対し、本などの印刷物を点字にして、点字による情報提供を行う点訳奉仕員を養成する。		
実施コース	内 容	開催日	受講人数
入門過程 中級課程	点訳の基礎知識と実技 点訳の応用知識と実技	令和元年 5 月 ～令和 2 年 3 月 毎週火曜日 （全 40 回）	延 100 人 （前年度比-214 人）

（ウ）音訳奉仕員養成講座

事業の目的	視覚に障がいのある方に対し、本や印刷物を朗読し、テープなどに録音して、音声による情報提供を行う音訳奉仕員を養成する。		
実施コース	内 容	開催日	受講人数
初級過程 中級課程	音訳の基礎知識と実技 音訳の応用知識と実技	令和元年 5 月 ～令和 2 年 2 月 毎週水曜日 （全 35 回）	延 177 人 （前年度比-82 人）

⑤宇都宮市意思疎通支援事業（要約筆記者派遣事業）の実施

（平成 18 年 10 月 1 日受託）

（総事業費 781,525 円）

事業の目的	聴覚障がい者などを対象に、日常生活を営む上でコミュニケーションを必要とするときに、要約筆記者を派遣し、社会参加を円滑にする。
-------	--

派遣依頼数	活動筆記者数
40 件 （前年度比 -1 件）	81 人 （前年度比 ±0 人）

⑥宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施（平成 26 年 6 月 25 日受託）

（総事業費 28,715,393 円）

※前掲：10P 参照

⑦生活困窮者自立相談支援事業の実施（平成 26 年 6 月 25 日モデル事業受託）

（平成 27 年 4 月 1 日）

（総事業費 25,528,785 円）

※前掲：16P 参照

⑧地域包括支援センター事業の充実

（ア）地域包括支援センター御本丸（平成 18 年 4 月 1 日受託）

（総事業費 38,479,276 円）

※前掲：16P 参照

（イ）上河内地域包括支援センター（平成 19 年 4 月 1 日受託）

（総事業費 24,693,598 円）

※前掲：17P 参照

⑨移動支援事業の実施（平成 18 年 10 月 1 日受託）

事業の目的	屋外での移動が困難な障がいのある方の外出や余暇活動などの社会参加の際に、訪問介護員が外出の支援を行う。
-------	---

利用状況	
利用者数	0 人
（前年度比	±0 人）

(2) 栃木県社会福祉協議会からの受託事業

①生活福祉資金等貸付事業の実施

(総事業費 7,055,359円)

事業の目的	低所得者世帯などに対して、低金利または無利子での資金の申請と必要な援助指導を行い、経済的自立や生活意欲の向上・社会参加の促進を図る。
--------------	--

取組み内容		
○相談件数 延 1,725 件 (前年度比 +284 件)		
○申請状況など		
	資金種別	申請件数
生活福祉資金	総合支援資金	1 件
	福祉資金 (福祉費)	35 件
	福祉資金 (緊急小口資金)	11 件
	教育支援資金	17 件
	不動産担保型生活資金	1 件
臨時特例つなぎ資金		1 件
合 計		66 件 (前年度比 +42 件)
生活福祉資金	福祉資金 (緊急小口資金・特例資金) ※令和 2 年 3 月 25 日事業開始	81 件

②日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施

【栃木県社会福祉協議会からの受託事業 (平成 11 年 10 月 1 日受託)】

(総事業費 8,804,400円)

※前掲：14P 参照